

事業報告書

自 令和 2年 4月 1日

至 令和 3年 3月 31日

公益財団法人 和敬塾

1. 事業の概要

本年度におきましても、建塾の趣意に則り、その目的を達成するために「公益財団法人和敬塾 定款」第4条に基づき、これまで培って来た良き和敬塾の精神文化を継承しつつ、新しい時代に受け入れられる「共同生活を通じた人間形成の場」を作り、他の大学生寮や宿舎との棲み分けを進めることにより、広く社会に和敬塾の存在を知らしめ、多くの塾生を迎え入れるとともに、前途有為な青年を輩出すべく、役職員一同、下記の事業に取り組みました。

次に、実施しました事業の活動の概況等を項目別にご報告致します。

(1) 学生寮並びに研修施設・体育施設・生活施設の運営（1号事業）

①共同生活の場である各施設的良好なる状態維持の為の改修工事等

- * 旧南寮を研修施設として使用する為のリニューアル工事、高架水槽補修工事、電源改修工事、防災設備工事、自火報設備工事を行った。
- * 食堂厨房の下処理場扉交換工事、グリーストラップ設置工事を行った。
- * 東寮の自火報受信盤交換工事を行った。
- * 学生ホール北側外壁補修工事を行った。
- * 空調設備、電気設備、エレベーター、給排水ポンプ、ボイラー、消防設備、特殊建物等の各種保守点検を行なった。
- * 空調機等の修理並びに取り換え工事を行なった。
- * 樹木の剪定及び伐採を行なった。

②現有施設の保守並びに有効利用

- * ①項の各種工事並びに定期点検を行うと共に、主として和敬塾本館を収益事業として外部への貸出を行った。

③各寮の特徴、特色を活かす為の諸施設の活用

- * 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、各寮のイベント等、緊急事態宣言中は開催を中止とした。
緊急事態宣言解除後は、感染対策を十分に実施することを条件に行った。

④研修施設としての活用

- * 新型コロナウイルス感染症拡大の状況下ではあったが、研修施設として活用を検討している。
- ・令和2年9月10日、公益財団法人和敬塾は、文京区との間に「公益財団法人和敬塾と文京区との包括連携に関する協定」を締結した。
- ・令和3年3月25日、広尾学園小石川中学校・高等学校との間に「公益財団法人和敬

塾と広尾学園小石川中学校・高等学校との包括的連携に関する協定」を締結した。

(2) 入寮学生の共同生活による修養・研鑽への援助（2号事業）

①入塾式、塾祭、体育祭、予餞会、シンポジウム、日本伝統歳事の実施

- * 入塾式、塾祭、各寮対抗競技の体育祭、予餞会の四大会事を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大のため、以下のような変則的な開催、もしくは中止とした。
 - ・ 入塾式に関しては、4月から9月27日に延期し、ビデオ配信形式にて開催した。
 - ・ 塾祭、体育祭に関しては、中止とした。
 - ・ 予餞会に関しては、理事長講話と記念写真撮影のみの開催とした。

②新入塾生に対する和敬塾設立理念並びに生活規範のオリエンテーション

- * 新型コロナウイルス感染症拡大のため、新入塾生は3月末に一斉入塾せず、個々の状況にあわせて入塾したため、9月になってほぼ全員がそろそろ状態であった。
 - そのため塾として開催する新入塾生オリエンテーションは中止とした。
- * 生活規範への理解として、各寮においてオリエンテーションを行った。

③各寮に於ける教養活動・イベント並びに既存の教養講座の開催

- * 新型コロナウイルス感染防止のため、緊急事態宣言中の開催を中止とした。
 - 緊急事態宣言解除後は講師の先生方と参加塾生の話し合いのもと、新型コロナウイルス感染対策を十分に実施することができる講座のみ再開した。

④各寮塾生委員会若しくは班が主催する行事の開催

- * 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、延期もしくは中止とした。

⑤一年生面談及び年末一・二・三年生継続面接の実施と助言並びにその発展的活用

- * 通例であれば、寮長、副寮長が、塾生と個別に面談し、それぞれの生活実態について話し合うが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため面談は最小限とした。
 - 6月～7月にかけての新入塾生面談、12月～1月にかけての一年生、二年生、三年生との面談は書面等を活用し、面談時間を極力短くして実施した。

⑥寮長及び副寮長による日常生活を通じた寮生の人間形成

- * 各寮委員会の会議、各寮総会への参加並びに日常生活での様々な場面をとらえて行なった。

⑦塾誌「和敬」並びに「和敬塾だより」の発行による塾生父母並びに塾友との共同体化

- * 「和敬塾だより」は新入塾生がそろそろ時期が遅かったため発行を見送った。
 - なお、塾誌「和敬」は現在、編集作業を行っている。

⑧塾友、外部学生との交流活動並びに研修会の開催による寮生の視野の醸成と拡大

- * 毎年7月に開催される中華民国大学生訪日研修団と当塾塾生との交流は、新型コロナウイルス感染症拡大のため中止となった。

⑨塾友との各種情報交換並びに講演会等の共同企画・開催による寮生の卒塾後の準備

- * 和敬塾卒塾生のOB会である塾友会との連携を深めるため緊密な情報交換を行うと

ともに、講演会を含む「ホームカミング大会」等への協力を行なった。

なお、「ホームカミング大会」はオンライン開催となった。

⑩日本人学生と留学生との交流による相互理解の促進と国際性の醸成

* 塾主催行事並びに各寮委員会行事、各寮の班行事への留学生の参加を通して、相互理解を深めた。

⑪所轄官庁の協力による防災意識並びに安全管理の啓蒙

* 必要に応じて大塚警察署並びに小石川消防署、小石川保健所等から助言を受け、防災体制の確立に努めた。

* 防災訓練を6月6日に行う予定であったが、コロナ感染症対策のため実施せず、小石川消防署監修の下、防災への自己啓発ポスターを各寮に掲示した。

* 防災倉庫、備蓄食糧庫、災害時用諸機材の点検などを定期的に行なっている。

* 新型コロナウイルス感染症への対応については、佐藤専務理事を本部長とする「和敬塾コロナ対策本部」を設置し、各部門および寮生の協力のもと、感染防止・感染拡大防止に努めている。

⑫地域社会との交流を目指した近隣文化活動等の実施

* 塾生の地域社会に対する奉仕の実践の場として、地域の美化活動等を行なった。

⑬「共同体研究プロジェクト」を発足し、発達心理学の専門家である和敬塾OBの協力を得て、和敬塾共同体を学術的に探究するとともに、塾生の日常生活の充実をはかる。

* 田島信元先生作成のアンケート調査を和敬塾全塾生に対して実施し、研究分析をもとに報告書を作成した。

* 以上の内容を入塾式の特別講演「共同体研究プロジェクト発表会」として発表した。

(3) 講演会・講座・討論会等の開催（3号事業）

①入塾式、塾祭、予餞会での記念講演

* 入塾式に関しては、新型コロナウイルス感染症拡大のため、講師、理事長、塾生代表のみ少人数の対話形式での特別講演を行い、その模様を塾生、保護者に向けてのビデオ配信形式にて開催した。

* 塾祭に関しては、新型コロナウイルス感染症拡大のため中止とした。

* 予餞会に関しては、新型コロナウイルス感染症拡大のため、講演会は中止とし、理事長講話のみ卒塾生を2グループに分けて開催した。

②役職員並びに講師と塾生との懇談会並びに懇親会

* 新型コロナウイルス感染症拡大のため、新・旧塾生委員会交代会等を中止とした。

③各寮塾生主催による講演会、シンポジウム等の開催

* 新型コロナウイルス感染症拡大のため各寮塾生主催による講演会、シンポジウム等を中止とした。

④別冊「和敬」による講演記録の発行

* 現在、編集作業を行っている。

⑤ 在塾生の為の企業説明会並びにマナー講習会

* 新型コロナウイルス感染症拡大のため、企業説明会並びにマナー講習会を中止とした。

⑥ 班会議並びに寮内討論会の開催

* 各寮において、塾生委員会を開催し、班会議も随時行った。

* 寮の特徴・特色を醸成するため、理事長と塾生委員会の懇談会を随時開催した。

(4) 奨学金の貸与（4号事業）

① 計8名に貸与した。

(5) 東京都指定有形文化財「旧細川侯爵邸」の保存並びに活用（5号事業）

① 本館文化財指定に基づく一般公開

* 概ね各月2回程度を目処とした定期公開等の自主公開並びに東京都主催による文化財ウィークにおいて一般公開を行なった。今年は新型コロナウイルス感染症対策のため、参加人数を少なくしたことにより、参加者は約160名であった。

② 塾生のための文化事業の場として活用

* 中華民国大学生訪日研修団と塾生との交流の場を7月上旬に行う予定だったがコロナウイルス感染症対策のため中止とした。

* 茶道部、坐禅道部等の会場として活用した。

* マナー講習会を令和3年2月上旬に開催予定だったが、新型コロナウイルス感染症対策のため中止とした。

(6) その他、第4条の目的を達成するために必要な事業（6号事業）

① 各寮ホームページ、ブログ等による継続的情報発信による募集活動

* 情報発信力を高めるため、既存のホームページのほか、和敬塾公式 FaceBook、twitter、にて、随時イベントや、塾生の日々の生活を紹介した。

* 早稲田大学合格者に配布される冊子「学生寮のご案内」に大学提携寮として和敬塾の案内が掲載された。その他、在寮が二年間である早稲田大学直営寮の退寮者に和敬塾の案内を配布、また、留学生短期プログラムの宿舎として和敬塾を紹介等、早稲田大学との関係が深まった。

* 「学生会館ほっとステーション」「学生寮ガイド」等の学生寮情報サイトに登録した。

* 東大生協パンフレットに広告を掲載した。

* 不動産情報サイト「e-部屋探し」「学校から探す賃貸物件」に登録した。

② 塾生出身校、塾生父兄並びに卒塾生との関係強化による募集活動

* 塾生及び塾友に同行してもらい塾生出身校を訪問し、進路指導の先生等に和敬塾の紹介と入塾案内を行った。

* 塾友会支部との交流を深め、募集活動の支援を得た。

* 各寮の職員が塾生の保護者と関係性を深め、その結果、保護者による新入塾生の紹介が増えた。

③新規収益事業の開発

* 収益事業化を視野に入れた研修センター開設の準備を行った。

(7)講演会、シンポジウム、セミナー、文化活動

年 月 日		
令和 2 年.9.27	入塾式	特別講演 演題：「共同体研究プロジェクト発表会」 (ビデオ配信) 講師：白百合女子大学名誉教授 田島 信元 講師：公益財団法人和敬塾理事長 前川 正雄 塾生代表：北寮 2年・手嶋 啓人、3年・鈴木 義高 4年・後藤 昂紀・鎌田 芳行
令和 2. 12. 13	予餞会	講話 演題：「卒塾生への送辞」 講師：公益財団法人和敬塾理事長 前川 正雄

(8)教養講座

一流講師の直接指導を受けて、合宿や会食も取り入れ、お互いに切磋琢磨をはかっている実施した講座と講師は下記の通り。

ただし新型コロナ感染防止のため、講師、参加塾生の双方打ち合わせのうえ開催可能とした場合のみの開催となっている。

(講 座 名)	(講 師)	(講 座 名)	(講 師)
茶 道	江川 宗京	書 道	岡本 光平
空 手 道	岡 精近	居 合 道	山崎 誉
中国古典輪読会	信夫 息游	絵 画 研 究 会	上葛 明広
直心影流法定	〃	坐 禅	高石 昭二郎
剣 道	塚本 博之	グレートブックス研究会	犬塚 潤一郎
柔 道	柏崎 克彦	英 会 話 教 室	Malcolm MacNeil

(9)入塾選考

入塾選考は、入塾願書による選考の後、塾設立の趣旨、塾生活の内容を説明し、理解させた上で面接または書類選考を行い、入塾を決定している。なお、令和2年度の新入塾生は日本人新入生73名（春：新一年68名、新三年1名、院生3名 秋：二年1名）、日本人再入塾4名、留学生7名の計84名であった。

尚、令和元年度の新入塾生は日本人新入生67名（春：新一年61名、新二年2名、新三年1名、新四年1名 秋：一年2名）、日本人再入塾6名、留学生62名の計135名であった。

令和元年度は日本人院生の募集は行わなかった。

(10)留学生に関して

令和2年度は、41名の留学生が在籍し、日本人塾生との共同生活並びに行事や教養講座への参加・活動を通して、日本文化への理解を深めている。

尚、令和元年度は114名の留学生が在籍した（1～4ヶ月程度の短期生も含む）。

令和元年度は、早稲田大学および上智大学経由で短期プログラム留学生の紹介があった。

大学別塾生数一覧表

(令和2年4月1日現在)

No	大 学	一年生	二年生	三年生	四年生	OB・大学院等	留学生	合 計
1	早稲田大学	28	30	17	8	10	34	127
2	東京大学	8	2	8	0	4	0	22
3	日本大学	2	4	8	2	0	0	16
4	明治大学	4	3	2	3	1	0	13
5	上智大学	6	1	1	1	0	3	12
6	東京理科大学	0	4	3	2	0	0	9
7	青山学院大学	2	0	1	3	0	0	6
8	國學院大学	1	1	2	2	0	0	6
9	東洋大学	3	0	1	2	0	0	6
10	慶應義塾大学	1	1	3	0	0	0	5
11	中央大学	3	0	1	1	0	0	5
12	法政大学	2	1	1	0	0	0	4
13	学習院大学	0	0	1	1	1	0	3
14	成蹊大学	0	1	2	0	0	0	3
15	東京農業大学	0	1	2	0	0	0	3
16	順天堂大学	0	1	0	0	0	1	2
17	専修大学	0	0	0	2	0	0	2
18	一橋大学	0	0	1	1	0	0	2
19	立教大学	1	0	0	1	0	0	2
20	立正大学	0	1	0	1	0	0	2
21	駒澤大学	1	0	0	0	0	0	1
22	城西国際	1	0	0	0	0	0	1
23	昭和大学	0	0	0	0	1	0	1
24	大正大学	1	0	0	0	0	0	1
25	拓殖大学	1	0	0	0	0	0	1
26	東京外国語大学	1	0	0	0	0	0	1
27	東京海洋大学	0	0	0	1	0	0	1
28	東京学芸大学	1	0	0	0	0	0	1
29	東京歯科大学	1	0	0	0	0	0	1
30	東京都市大学	0	0	1	0	0	0	1
31	東京農工大学	0	0	1	0	0	0	1
32	東洋学園大学	0	0	0	1	0	0	1
33	日本歯科大学	0	0	0	1	0	0	1
34	日本獣医生命科学大学	0	0	0	1	0	0	1
35	文京学院大学	0	0	1	0	0	0	1
36	横浜国立大学	0	1	0	0	0	0	1
37	日本語学校	0	0	0	0	0	2	2
38	インターンシップ	0	0	0	0	0	1	1
	合 計	68	52	57	34	17	41	269
	昨 年 度	59	62	37	41	11	59	269

2. 処務の概要

役員等に関する事項

(令和3年3月31日現在)

役職名	氏名	就任年月日	担任職務	常勤・非常勤
理事	前川正雄	H24.2.1	理事長	非常勤
〃	前川正	H30.6.27	副理事長	常勤
〃	佐藤一義	H25.11.1	専務理事	〃
〃	栃木弘義	H24.2.1		非常勤
〃	奥島孝康	H24.9.24		〃
〃	藁谷友紀	〃		〃
〃	柳川邦衛	H27.6.23		〃
〃	岩木勅一	H28.6.27		〃
〃	加茂田信則	H29.4.21		常勤
〃	跡見裕	H30.6.27		非常勤
〃	平沢泉	H30.6.27		〃
〃	岩崎嘉夫	R02.3.14		常勤
〃	金澤岳夫	〃		〃
〃	賀集豊	〃		非常勤
〃	中島勝之	〃		〃
〃	田島信元	R02.6.27		〃
監事	笠原将敏	H24.2.1		非常勤
〃	山内豊	〃		〃
評議員	加藤英二	H24.2.1		非常勤
〃	河合素直	〃		〃
〃	細越峻	〃		〃
〃	松岡章次	〃		〃
〃	宮野忠夫	〃		〃
〃	渡邊重範	〃		〃
〃	石光豊	H27.6.23		〃
〃	太田朝生	〃		〃
〃	福原毅	〃		〃

3. 役員会等に関する事項

(1)理事会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
令和 02. 6.12	1.公益財団法人和敬塾令和元年度事業報告の承認に関する件	原案どおり可決
	2.公益財団法人和敬塾令和元年決算報告の承認に関する件	原案どおり可決
	3.理事候補者の承認に関する件	原案どおり可決
	4.定時評議員会招集に関する件	原案どおり可決
	5.塾の現状報告に関する件	報告事項
令和 03. 3.26	1.公益財団法人和敬塾令和3年度事業計画の承認に関する件	原案どおり可決
	2.公益財団法人和敬塾令和3年度収支予算の承認に関する件	原案どおり可決
	3.令和3年度資金調達及び設備投資の見込みについての承認に関する件	原案どおり可決
	4.公益財団法人和敬塾長期修繕計画（令和3年度版）並びに資産取得計画（令和3年度版）の承認に関する件	原案どおり可決
	5.資産取得積立資産の取り崩しの承認に関する件	原案どおり可決
	6.寄附金等取扱規程（案）認定の承認に関する件	原案どおり可決
	7.塾の現状報告に関する件	報告事項

(2)評議員会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
令和 02. 6.27	1.公益財団法人和敬塾令和元年度事業報告に関する件	報告事項
	2.公益財団法人和敬塾令和元年度決算報告の承認に関する件	原案どおり可決
	3.理事候補者の選任に関する件	原案どおり可決
	4.塾の現状報告に関する件	報告事項

4. 附属明細書

令和元年度事業報告には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項にて規定される「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので、附属明細書は作成しない。